

発行者 楽しい株式会社
 住所 北九州市若松区向洋町10番1
 北九州エコタウン実証研究エリア内
 Tel 093-752-5300 fax 093-752-5303
 E-mail ceres@fun-c.jp URL http://www.fun-c.jp

ハチドリ通心(信)
 2009年3月号

新しいハチドリが誕生しました！ メリーズシステム松戸資源循環センター

処理能力は年間約1,800トン。
 地域内循環の『要』として最新鋭施設が稼働しました。

メリーズ・グループと企業・学術機関・研究機関などの協力から生まれた、最新鋭の発酵完熟堆肥化施設です。

その処理能力はメリーズ・グループ最大規模を誇ります。処理単価(装置の減価償却とランニング経費のコスト)は15円/kg。また、オリックス環境株式会社と連携し、カーボンフリー(※1)も実現しました。

千葉県松戸市より一般廃棄物処理の認可をいただき、東京デリカフーズ(株)の野菜残渣と今後は松戸市内小中学校の給食残渣を処理する予定です。

メリーズシステム松戸資源循環センターは500kg/日処理機×6台、1トン/日処理機×2台で構成され、1日最大5トンの食品残渣を1次処理します。半年に1度、1次処理された発酵分解床は堆肥化装置で2次、3次処理され、完熟堆肥化して土壌改良材「和み」を製造します。製造された堆肥・土壌改良材は松戸市内の契約農家(梨園等)や東京デリカフーズ(株)の契約農家等(野菜)に提供して、農作物の生産に使用されます。そして生産された農作物は都内のスーパーや食品加工の工場に販売され、消費者にお届けされます。これにより、食品残渣の地域内循環システムを構築します。

《メリーズシステム松戸資源循環センターの効果》

焼却処理と比較した場合、

- ①食品廃棄物の削減 1,800トン/年
- ②最終焼却灰の埋立地不要分 180トン/年
- ③CO₂排出削減量 136トン/年

※1カーボンフリー

人間の生活や企業の経済活動を通して排出された二酸化炭素(CO₂)などの温室効果ガスを、植林・森林保護活動、クリーンエネルギー事業などに投資する事によって、排出した分を相殺(オフセット)し、二酸化炭素などの排出を実質ゼロにすること

松戸資源循環センターのフロー図



「食品残渣の地域内循環+オフセット」で高付加価値サービスを実現 カーボンオフセットサービスが始まります！！

(株)メリーズ・ジャパンと楽しい(株)は、オリックス環境(株)と連携し、カーボンオフセットを3月より実施します。

これまで提供してきました食品残渣の地域内循環システム、メリーズシステムでは、従来の収集・運搬・焼却処理に比べて43%のCO₂削減効果を上げてきました。(LCA評価による)

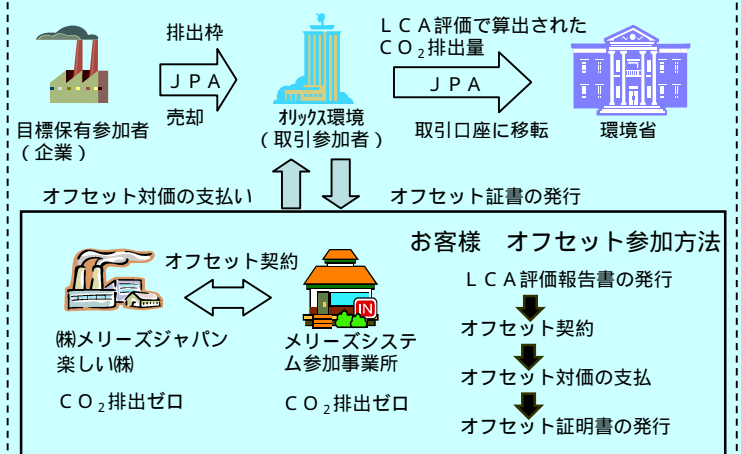
今回、残り57%のCO₂を、カーボンオフセットという手法で相殺することにより、CO₂の排出ゼロ(カーボンフリー)が可能となります。環境省・自主参加型国内排出量取引制度(JVETS)で取引される排出枠(JPA)を使い、オリックス環境(株)から排出枠を購入して当社の生ゴミ処理機をお使いのユーザー様へその排出枠を販売します。これによりお客様から排出される生ゴミ(食品残渣)からのCO₂排出量はゼロとなります。

省エネやISO14001などすでにCO₂削減活動に取り組まれているお客様に、更なる高付加価値サービスを提供します。詳細は(株)メリーズ・ジャパン、楽しい(株)までお問い合わせください。

ご参加によるCO₂削減例

■1日100kgの食品残渣を排出している事業所様の場合	
①従来の収集・運搬・焼却処理する場合のCO ₂ の排出量	2.8t-CO ₂ /年
	↓ 43%削減
②メリーズシステム参加の場合のCO ₂ の排出量	1.6t-CO ₂ /年
(①に比して43%の削減)	↓ 57%削減
③カーボンオフセットサービスご利用の場合のCO ₂ の排出量	0t-CO ₂ /年
(①に比して100%の削減)	カーボンフリーを実現

取組図



～ニュース～

ストップ温暖化「一村一品」大作戦全国大会にて特別賞受賞

2月14日(土)、15日(日)、THE GRAND HALL(東京、品川)にて福岡県の代表として、減CO₂(げんこつ)取組みの発表を行いました。その結果、特別賞『地域まるごと連携賞』をいただきました。

メリーズシステムにご参加いただいていますハチドリの皆様との連携が高い評価を受けました。今後もますます連携の強化とリサイクルの輪(和)をひろげてまいります。

～お知らせ～

環境省食品リサイクル制度に関する説明会が開催されます。

日時 平成21年3月11日(水) 13:00~17:00
 場所 サンメッセ鳥栖
 住所 鳥栖市栖本町1819
 内容 食品リサイクル制度における登録再生事業者制度の説明
 リサイクルループの事例紹介
 再生利用施設の現場見学

応募先 財団法人 日本環境衛生センター

お問い合わせ TEL 092-572-1326

定員があり、先着順です ※メリーズシステムの事例を紹介します

ハチドリ通心(信)は楽しい株式会社のホームページでご覧いただけます。

URL : www.fun-c.jp/

(今月号は川部が担当しました。)